

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	南総部会君津市スクールミュージアム事業「小櫃の森の恵みを探そう」		
開催日時	2022年11月 2日（水）9時25分～11時25分		
開催場所	小櫃の森・小櫃小学校校庭、体育館	小櫃小学校 1年生18名 職員 2名	20名

活動概要

スクールミュージアム事業は君津市が実施している事業で、小櫃小学校では、小櫃の森、校庭の樹木等を観察し、色づいた木の葉などで、クラフトづくり、森の恵みを感じる、というものである。まず、教育委員会の開講式、2班に分かれて、学校林観察に出発した。シンボルツリーのヒマラヤシダとケヤキの巨木、クヌギの樹液にクワガタやカブトムシが集まる話に、子供達が大変興味を示した。次に、小櫃の森に入り、ランチプレートに使う材料を集めながら観察した。森の中に入って、木の病気であるナラ枯れ、親分の木スタジイ、植林されたスギやヒノキの話をした。また、マテバシイやシラカシ、コナラのドングリを拾い、ドングリ鑑定も行った。校庭に戻り、ヤドリギを見つけたり、アオギリの種が風に乗って広がる様子も観察し、植物は足で動けないので、いろいろな方法で住む世界を広げていることも説明した。



全体説明



小櫃の森でネムノキ観察



アオギリの種はお舟で風に乗って！

後半はイチョウでピカチュウ、鋸歯の大きい葉っぱでミミズクづくりをした後、準備したプレートに色とりどり木の葉や木の実を盛り合わせて、ランチプレートづくりをした。ランチプレートの縁でピカチュウやミミズクが覗いている、発想豊かなランチプレートが出来上がった。



ピカチュウづくり



ミミズクが出来たよ



ランチプレートを覗いているよ！



皆の作品を披露

最後に小枝色鉛筆に色をつけて記念のおみやげにし、おわりの会で、質問や感想が多数寄せられ、楽しかったからまたやりたいと意見が出たり、やり甲斐のある有意義な活動であった。



記念品の小枝色鉛筆ブローチ



終わりの会で質問や感想が多く寄せられた

F I C 講師 福村英俊・神子秀男・石松成子
君津市教育委員会 3名、小櫃小学校教諭 2名